

2020 年度 公益財団法人日本音楽教育文化振興会  
事業報告  
(2020 年 4 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日迄)

**公1 事業：音楽に関する学習機会を提供する事業**

**名 称：**No. 1 「社会人のための音楽通信教育」

**内 容：**東京音楽学校同声会が母体となり、文部科学省認定音楽分野唯一の「社会人のための音楽通信教育」を実施。1948 年（昭和 23 年）から 73 年間の実績をもとに今後も継続して民間音楽教育の普及・向上の推進を図る。

**報 告：**2020 年度は「音楽のすべて音楽通論」のテキスト改訂に向けて、理事の松尾祐孝氏を中心に本通信教育添削員の佐藤旬氏・首藤健太郎氏・星出和宏氏とともに改訂下案からテキスト制作及び校正作業を行った。2021 年度はテキスト制作及び校正作業を行い、文部科学省生涯学習局に改訂案を提出し審査及び指導を受ける。

**名 称：**No. 2 「楽譜検定」

**内 容：**楽譜とは、作曲者がプレイヤーに演奏情報を伝えるための設計図、あるいは後世に作品を残すための重要な手段の一つである。作曲者の意図を正しく伝えるためには、より正確で美しい楽譜であることが大事だが、そのためには伝統的な楽譜表記の「ルール」を知っていることがまず必要不可欠である。本検定は「楽譜に関する知識」について一定の指針を示し、その習熟度によってグレード（級）を付与することで、楽譜について学びたい方々の意欲向上、ひいては音楽文化の継承発展を牽引する人材の育成を目指す。

**報 告：**2013年7月から試験システム（無料グレード 10～8級）を運営し、2020年2月までおおよそ 3,000名が楽譜検定に取り組んできた。それと同時に有料グレードに向けた課金制によるシステム開発費及び運営費の捻出など議論してきたが、近年ソーシャルネットワーク普及による社会環境の変化や無料アプリケーションソフトの充実と利便性が進む昨今、時代のニーズにあった検定そのものの在り方と必要性を再度検討するため、No. 2 「楽譜検定」を休止とした。

**公2 事業：音楽に関する発表機会を提供する事業**

**名 称：**No. 3 「日本管打楽器コンクール」

**目 的：**このコンクールは、公益財団法人日本音楽教育文化振興会が主催する事業の一つで、生涯学習を通じての個人並びに社会に役立つ視野に立ち、管楽器及び打楽器（12 楽器部門）の各分野から有能なソリストの発掘、優秀な人材の育成及びこのジャンルの啓発を目的とする。尚、各開催楽器部門の 1 位受賞者に、文部科学大臣賞・東京都知事賞をそれぞれ授与、特別大賞演奏会にて特別大賞受賞者に内閣総理大臣賞（予定）を授与する。

内 容：「2020年度 第37回日本管打楽器コンクール」(開催)

開催楽器部門：オーボエ・サクソフーン・パーカッション・マリンバ

■オーボエ部門 (定員：160名)

会 場 尚美ミュージックカレッジ専門学校 (東京都文京区本郷4-15-9)  
第一次予選 8月17日(月)～18日(火)  
第二次予選 8月20日(木)  
本 選 8月24日(月)

■サクソフーン部門 (定員：300名)

会 場 東京音楽大学 池袋キャンパス (東京都豊島区南池袋3-4-5)  
第一次予選 8月17日(月)～19日(水)  
第二次予選 8月20日(木)～21日(金)  
本 選 8月22日(土)

■パーカッション部門 (定員：120名)

会 場 国立音楽大学 (東京都立川市柏町5-5-1)  
第一次予選 8月18日(火)～19日(水)  
第二次予選 8月22日(土)  
本 選 8月23日(日)

■マリンバ部門 (定員：140名)

会 場 国立音楽大学 (東京都立川市柏町5-5-1)  
第一次予選 8月16日(日)～17日(月)  
第二次予選 8月21日(金)  
本 選 8月23日(日)

■特別大賞演奏会及び表彰式 9月03日(木) 17:00 開演

会 場 文京シビックホール 大ホール (東京都文京区春日1-16-21)  
共 演 藝大フィルハーモニア管弦楽団  
指 揮 山下 一史

運営役員：運営委員長 尾高 忠明 (NHK交響楽団正指揮者)  
運営副委員長 青木 明 (名古屋芸術大学名誉教授)  
運営副委員長 吉井 實行 (公益社団法人日本オーケストラ連盟専務理事)  
運営副委員長 松尾 祐孝 (本公益財団理事)  
運営実行委員長 石渡 悠史 (本公益財団理事)  
運営実行副委員長 井上 順平 (日本トロンボーン協会顧問)  
運営委員 辻 功 (オーボエ部門審査委員長/日本オーボエ協会理事長)  
運営委員 須川 展也 (サクソフーン部門審査委員長/東京藝術大学招聘教授)  
運営委員 吉原 すみれ (パーカッション部門審査委員長/武蔵野音楽大学教授)  
運営委員 菅原 淳 (マリンバ部門審査委員長/東京音楽大学客員教授)  
運営事務局長 尾上 将己 (本公益財団常務理事)

後 援：内閣府、文部科学省、外務省、ドイツ連邦共和国大使館、駐日韓国大使館 韓国文化院、  
東京都、文京区、文京区教育委員会、豊島区、豊島区教育委員会、立川市、立川市教育委

員会、公益社団法人日本演奏連盟、公益社団法人日本オーケストラ連盟、一般社団法人日本音楽著作権協会、一般社団法人日本管打・吹奏楽学会、一般社団法人全日本吹奏楽連盟、東京都吹奏楽連盟、神奈川県吹奏楽連盟

特別協力：東京藝術大学、東京音楽大学、国立音楽大学、尚美ミュージックカレッジ専門学校

協力：日本オーボエ協会、一般社団法人日本サクソフーン協会、日本マリンバ協会

協賛：京都市立芸術大学、愛知県立芸術大学、沖縄県立芸術大学、武蔵野音楽大学、昭和音楽大学、桐朋学園大学音楽学部、東邦音楽大学、尚美学園大学、上野学園大学、名古屋芸術大学、名古屋音楽大学、相愛大学音楽学部、くらしき作陽大学音楽学部、エリザベト音楽大学、株式会社図書出版、きらぼし銀行春日町支店、株式会社ヤマハミュージックジャパン、野中貿易株式会社、株式会社ビュッフェ・クランポン・ジャパン、日本ダブルリード株式会社、株式会社グローバル、株式会社ダク、株式会社ドルチェ楽器、株式会社石森管楽器、株式会社美ら音工房ヨーゼフ、株式会社プリマ楽器、柳澤管楽器株式会社、パール楽器製造株式会社、株式会社コマキ楽器、株式会社こおろぎ社、有限会社パロックミュージック、GVIDO MUSIC 株式会社、株式会社フォトライフ、ブレーン株式会社、株式会社JTB、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

報告：2020年第37回日本管打楽器コンクールの開催準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴い、政府による緊急事態宣言の方針を受け、日本管打楽器コンクール運営委員会にて、出演者及び関係者の皆様の健康と安全を第一に考慮した結果、2020年第37回日本管打楽器コンクール開催を中止し、来年度に延期する判断とした。

名称：No. 4「日本管楽合奏コンテスト」

目的：管打楽器及び吹奏楽に関する研究・調査・啓発を行うとともに音楽文化の向上を図り、学校教育、生涯教育における我が国の管打楽器及び吹奏楽の充実・発展に寄与することを目的とする。その一環として「日本管楽合奏コンテスト」を開催する。

- ① 「独自のサウンド」の研究を行う。
- ② 管打楽器合奏を主体として、同属楽器アンサンブル・声楽・電子楽器・弦楽器との融合について研究を行う。
- ③ 時代様式、演奏様式、個人様式などの追求・研究を行う。
- ④ 全国大会においては、視覚的演出表現等の研究を行う。

※ 2020（第26回）日本管楽合奏コンテストは、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う対策として、全国大会を動画審査とするため、開催趣旨④は該当としない。

内容：「2020年度 第26回日本管楽合奏コンテスト」（開催）

予選審査会 <非公開及び音源審査>

2020年09月28日（月）～10月02日（金）

全国大会 <動画配信及び動画審査>

2020年11月07日（土） 高等学校A部門

2020年11月08日（日） 高等学校B部門

2020年11月14日（土） 中学校A部門

2020年11月15日(日) 中学校B部門  
2020年11月21日(土) 中学校S部門・高等学校S部門  
2020年11月22日(日) 小学校部門

会場：予選審査会／学校法人尚美学園教室  
全国大会／学校法人尚美学園教室

主催：公益財団法人日本音楽教育文化振興会

共催：公益財団法人文京アカデミー、一般社団法人日本管打・吹奏楽学会

後援：内閣府、文部科学省、文京区、文京区教育委員会、一般社団法人全日本吹奏楽連盟

特別協力：尚美ミュージックカレッジ専門学校

特別協賛：株式会社ヤマハミュージックジャパン

協賛：あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、株式会社音楽之友社、きらぼし銀行春日町支店、昭和音楽大学、株式会社エムアイセブンジャパン、株式会社ジェネレックジャパン、株式会社フォトライフ、ブレーン株式会社

大会役員：大会顧問 煙山 力 (元文京区長)

大会会長 赤松 昌代 (本公益財団理事長)

大会副会長 小澤 俊朗 (本公益財団理事)

運営委員長 石田 修一 (本公益財団理事)

運営副委員長 後藤 洋 (一般社団法人日本管打・吹奏楽学会理事)

運営事務局長 尾上 将己 (本公益財団常務理事)

運営委員会は、運営委員長の石田修一氏(本公益財団理事)を中心とし、小澤俊朗氏(本公益財団理事)の協力のもと、2020年09月28日(月)から10月02日(金)に予選審査会が行われた。7部門のうち、小学校部門36団体、中学校S部門18団体、中学校A部門36団体、中学校B部門36団体、高等学校S部門18団体、高等学校A部門36団体、高等学校B部門36団体を選出した。また前回の最優秀グランプリ賞受賞団体(5団体)に対して、特別演奏及び特別表彰の機会を設けた。

報告：全国大会結果

■高等学校A部門

文部科学大臣賞・最優秀グランプリ賞

浜松日体中・高等学校

最優秀賞

流通経済大学付属柏高等学校、鹿児島情報高等学校、浜松日体中・高等学校、藤村女子高等学校、旭川実業高等学校、茨城県立並木中等教育学校、鶴岡東高等学校、静岡県立静岡農業高等学校、茨城県立伊奈高等学校、精華高等学校、国本女子中学校高等学校、秀明大学学校教師学部附属秀明八千代高等学校

審査員特別賞

鹿児島情報高等学校、藤村女子高等学校

バンドジャーナル賞

愛知県立蒲郡東高等学校

ブレーン賞

山村国際高等学校

フォトライフ賞

希望が丘高等学校

ヤマハ賞

千葉県立銚子商業高等学校

フィナーレ賞

富山県立富山工業高等学校

観客投票最多賞

関西創価高等学校（前半の部）、茨城県立伊奈高等学校（後半の部）

■高等学校B部門

文部科学大臣賞・最優秀グランプリ賞

習志野市立習志野高等学校

最優秀賞

福島県立湯本高等学校、おこやま山陽高等学校、習志野市立習志野高等学校、明誠学院高等学校、北海道旭川商業高等学校、出雲北陵高等学校、東京都立片倉高等学校、埼玉県立伊奈学園総合高等学校、千葉県立小金高等学校、光ヶ丘女子高等学校、東海大学菅生高等学校、春日部共栄高等学校

審査員特別賞

光ヶ丘女子高等学校、東海大学菅生高等学校

ブレーン賞

青森山田中学高等学校

フォトライフ賞

皇學館高等学校

ヤマハ賞

花咲徳栄高等学校

フィナーレ賞

山形県立山形中央高等学校

観客投票最多賞

駒澤大学高等学校（前半の部）、光ヶ丘女子高等学校（後半の部）

■中学校A部門

文部科学大臣賞・最優秀グランプリ賞

宝塚市立中山五月台中学校

最優秀賞

真岡市立真岡東中学校、能代市立能代第一中学校、深川市立深川中学校、浜松市立開成中学校、青梅市立第三中学校、青梅市立泉中学校、防府市立桑山中学校、出雲市立第一中学校、宝塚市立中山五月台中学校、志木市立志木中学校、町田市立南中学校、関西創価中学校

審査員特別賞

青梅市立泉中学校、出雲市立第一中学校

バンドジャーナル賞

ひたちなか市立大島中学校

ブレーン賞

防府市立華陽中学校

フォトライフ賞

遠軽町立南中学校

ヤマハ賞

鹿児島市立明和中学校

フィナーレ賞

宇都宮市立泉が丘中学校

- 観客投票最多賞  
大阪市立墨江丘中学校（前半の部）、関西創価中学校（後半の部）

■ 中学校B部門

- 文部科学大臣賞・最優秀グランプリ賞  
山口市立小郡中学校
- 最優秀賞  
秋田市立山王中学校、朝霞市立朝霞第一中学校、松戸市立小金中学校、山口市立小郡中学校、西宮市立上甲子園中学校、豊中市立第十一中学校、鹿児島市立武岡中学校、北上市立上野中学校、山形市立第六中学校、柏市立酒井根中学校、北斗市立上磯中学校、習志野市立第四中学校
- 審査員特別賞  
朝霞市立朝霞第一中学校、北斗市立上磯中学校
- ブレーン賞  
横浜市立田奈中学校
- フォトライフ賞  
松山市立西中学校
- ヤマハ賞  
東広島市立中央中学校
- フィナーレ賞  
名古屋市立植田中学校
- 観客投票最多賞  
豊中市立第十一中学校（前半の部）、柏市立酒井根中学校（後半の部）

■ 中学校S部門

- 文部科学大臣賞・最優秀グランプリ賞  
青梅市立第六中学校・青梅市立吹上中学校
- 最優秀賞  
青梅市立第六中学校・青梅市立吹上中学校、足立区立第九中学校、春日部共栄中学校、土別市立土別南中学校、大玉村立大玉中学校、奄美市立朝日中学校
- 審査員特別賞  
足立区立第九中学校
- バンドジャーナル賞  
西郷村立西郷第二中学校
- ブレーン賞  
飯塚市立筑穂中学校
- フォトライフ賞  
長井市立長井南中学校
- ヤマハ賞  
栃木市立岩舟中学校
- フィナーレ賞  
長崎県立長崎東中学校
- 観客投票最多賞  
青梅市立第六中学校・青梅市立吹上中学校

■ 高等学校S部門

- 文部科学大臣賞・最優秀グランプリ賞  
永島学園松江西高等学校

最優秀賞

北海道鶴川高等学校、山形県立鶴岡工業高等学校、永島学園松江西高等学校、北海道八雲高等学校、聖隷クリストファー中・高等学校、北海道名寄高等学校

審査員特別賞

山形県立鶴岡工業高等学校

バンドジャーナル賞

神奈川県立藤沢清流高等学校

ブレーン賞

相愛中学校・高等学校

フォトライフ賞

福島県立磐城農業高等学校

ヤマハ賞

富山県立新湊高等学校

フィナーレ賞

関西高等学校

観客投票最多賞

北海道八雲高等学校

■小学校部門

文部科学大臣賞・最優秀グランプリ賞

札幌市立屯田西小学校

最優秀賞

八戸市立函南小学校、札幌市立屯田西小学校、生駒市立桜ヶ丘小学校、真岡キッズハーモニー、精華町立東光小学校、武蔵野市立第三小学校、北斗市立上磯小学校、遠軽町立南小学校、水戸市立笠原小学校、千曲市立治田小学校、世田谷区立千歳小学校、柏市立酒井根東小学校

審査員特別賞

精華町立東光小学校、柏市立酒井根東小学校

ブレーン賞

習志野市立東習志野小学校

フォトライフ賞

防府市立松崎小学校

ヤマハ賞

宮崎市立大淀小学校

フィナーレ賞

矢巾町立煙山小学校

観客投票最多賞

関西創価小学校（前半の部）、武蔵野市立第一小学校（後半の部）

■最優秀グランプリ賞受賞団体による特別演奏及び特別表彰について

昨年の2019（第25回）日本管楽合奏コンテストにおいて、文部科学大臣賞・最優秀グランプリ賞を授与した小学校部門、中学校・高等学校（各A・B部門）の団体に、その荣誉ある功績を顕彰し、動画配信にて特別演奏及び特別表彰を行なった。

◇小学校部門：柏市立柏第二小学校（千葉県）

◇中学校A部門：東金市立東金中学校（千葉県）

◇中学校B部門：日進市立日進西中学校（愛知県）

◇高等学校A部門：慶應義塾志木高等学校（埼玉県）※特別表彰のみ

◇高等学校B部門：柏市立柏高等学校（千葉県）

**名 称** : No. 5 「日本ジュニア管打楽器コンクール」

**目 的** : 全国小学校・中学校・高等学校の教育現場における管打楽器教育のあり方と、管打楽器愛好者の優秀な人材の発掘や育成及び啓発と普及を目的とする。文部科学大臣賞授与。

**内 容** : 「2020年度 第23回日本ジュニア管打楽器コンクール」(開催)

**開催部門** : ソロ部門(12楽器の部) / アンサンブル部門(木管の部・金管の部・打楽器の部)

**コ ー ス** : 小学生コース / 中学生コース / 高校生コース

**実施楽器** : フルート・クラリネット・オーボエ・ファゴット・サクソフーン・トランペット・トロンボーン・ホルン・ユーフォニアム・チューバ・パーカッション・マリimba

**演奏曲目** : 予選・本選考会とも規定分数以内の任意の楽曲とする。

**演奏時間** : ソロ部門 小・中学生コース5分以内。高校生コース6分以内。

アンサンブル部門 小・中・高校生コース5分以内。

**受付期間** : 2021年01月08日(金)～01月29日(金)まで

**予選考会** : 2021年02月13日(土)～02月14日(日) <非公開/音源審査>

**本選考会** : ソロ部門 <非公開/音源審査>

2021年03月22日(月) トランペット・ホルン・オーボエ・ファゴット

2021年03月23日(火) クラリネット・サクソフーン

2021年03月24日(水) フルート・チューバ・トロンボーン

2021年03月25日(木) マリimba・パーカッション・ユーフォニアム

アンサンブル部門 <非公開/音源審査>

2021年03月26日(金) 打楽器の部・金管の部

2021年03月27日(土) 木管の部

**会 場** : 予選考会(非公開/音源審査)

本選考会(非公開/音源審査) 学校法人尚美学園(東京都文京区本郷4-15-9)

**後 援** : 内閣府、文部科学省、東京都、文京区、文京区教育委員会、一般社団法人日本管打・吹奏楽学会、一般社団法人全日本吹奏楽連盟、北海道吹奏楽連盟、北海道函館地区吹奏楽連盟、北海道日胆地区吹奏楽連盟、北海道札幌地区吹奏楽連盟、北海道空知地区吹奏楽連盟、北海道旭川地区吹奏楽連盟、北海道帯広地区吹奏楽連盟、北海道留萌地区吹奏楽連盟、秋田県吹奏楽連盟、山形県吹奏楽連盟、福島県吹奏楽連盟、東関東吹奏楽連盟、栃木県吹奏楽連盟、茨城県吹奏楽連盟、千葉県吹奏楽連盟、神奈川県吹奏楽連盟、新潟県吹奏楽連盟、群馬県吹奏楽連盟、山梨県吹奏楽連盟、埼玉県吹奏楽連盟、東京都吹奏楽連盟、東京都高等学校吹奏楽連盟、東海吹奏楽連盟、愛知県吹奏楽連盟、三重県吹奏楽連盟、長野県吹奏楽連盟、富山県学校吹奏楽連盟、京都府吹奏楽連盟、兵庫県吹奏楽連盟、滋賀県吹奏楽連盟、広島県吹奏楽連盟、岡山県吹奏楽連盟、鳥取県吹奏楽連盟、島根県吹奏楽連盟、四国吹奏楽連盟、香川県吹奏楽連盟、愛媛県吹奏楽連盟、徳島県吹奏楽連盟、九州吹奏楽連盟、筑豊吹奏楽連盟、北九州吹奏楽連盟、宮崎県吹奏楽連盟

**特別協力** : 尚美ミュージックカレッジ専門学校

**協 力** : 一般社団法人日本フルート協会、日本オーボエ協会、日本ファゴット(バスーン)協会、一般社団法人日本クラリネット協会、一般社団法人日本サクソフーン協会、日本トランペット協会、日本ホルン協会、日本トロンボーン協会、日本ユーフォニアム・チューバ協



会、日本マリンバ協会

協 賛：あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、株式会社図書出版、株式会社ヤマハミュージック  
クジャパン、ブレーン株式会社、株式会社フォトライフ、尚美学園大学、昭和音楽大学  
報 告：受賞者一覧

■文部科学大臣賞

ソロ部門：小学生コース フルートの部 金賞 堀内 心優彩 (多賀町立多賀小学校)

ソロ部門：中学生コース ユーフォニアムの部 金賞 外間 瑛太 (大野城市立大利中学校)

ソロ部門：高校生コース トロンボーンの部 金賞 富田 祐衣 (高松第一高等学校)

■ソロ部門

□トランペットの部

<小学生コース>

金賞 児玉 隼人 (釧路市立鳥取西小学校)

銀賞 長谷川 舞音 (札幌市立南月寒小学校)

銅賞 深美 雅貴 (市川市立行徳小学校)

<中学生コース>

金賞 土谷 風音代 (長崎大学教育学部附属中学校)

銀賞 境 昊洋 (宮崎市立大淀中学校)

銅賞 松本 龍大 (東大和市立第四中学校)

<高校生コース>

金賞 中田 奏樂 (須磨学園高等学校)

銀賞 土肥 世佳 (東京音楽大学付属高等学校)

銅賞 斎藤 凜太郎 (神奈川県立相模原弥栄高等学校)

□ホルンの部

<小学生コース>

金賞 豊田 実嬉 (鹿児島市立中山小学校)

<中学生コース>

金賞 山本 大雅 (府中市立府中第一中学校)

銀賞 佐藤 亜胡 (葛飾区立奥戸中学校)

銅賞 平井 永奈 (仙台市立向陽台中学校)

<高校生コース>

金賞 中野 涼香 (茨城県立取手松陽高等学校)

銀賞 三浦 えみな (東海大学菅生高等学校)

銅賞 多田 凌吾 (神奈川県立相模原弥栄高等学校)

□オーボエの部

<小学生コース>

金賞 深美 彰太 (市川市立行徳小学校)

<中学生コース>

金賞 渋谷 みう (鹿児島市立坂元中学校)

銀賞 持田 陽菜乃 (前橋市立第五中学校)

銅賞 黒川 明日香 (東広島市立中央中学校)

<高校生コース>

金賞 石川 さくら (香川県立坂出高等学校)

銀賞 前田 菜穂子 (愛知県立明和高等学校)

銅賞 古本 恭香 (小松市立高等学校)

□ファゴットの部

<小学生コース>

銅賞 井上 環 (市川市立大柏小学校)

<中学生コース>

銀賞 鈴木 舞 (仙台市立向陽台中学校)

<高校生コース>

金賞 山縣 由布夏 (須磨学園高等学校)

銀賞 石橋 奏 (須磨学園高等学校)

銅賞 荒木 翔也 (皇學館高等学校)

□クラリネットの部

<小学生コース>

金賞 藤澤 茉里 (船橋市立西海神小学校)

銀賞 長谷川 琴羽 (船橋市立西海神小学校)

銅賞 松田 花菜 (晃華学園小学校)

<中学生コース>

金賞 熊谷 菜々子 (仙台市立向陽台中学校)

銀賞 阿戸 優菜 (習志野市立第四中学校)

銅賞 中川 希音 (小平市立小平第三中学校)

<高校生コース>

金賞 白川 和海 (千葉県立幕張総合高等学校)

銀賞 吉良 彩香 (大分中学校・大分高等学校)

銅賞 池野谷 菜月 (春日部共栄高等学校)

□サクソフォーンの部

<小学生コース>

銅賞 宮川 連 (宮崎市立大淀小学校)

<中学生コース>

金賞 菅野 風雅 (市川市立下貝塚中学校)

銀賞 大内 悠生 (ひたちなか市立勝田第三中学校)

銅賞 中本 沙良 (大阪市立城東中学校)

<高校生コース>

金賞 諏訪 直風 (三田国際学園高等学校)

銀賞 同前 伸之助 (宇都宮短期大学附属高等学校)

銅賞 三笠 諒 (広島市立基町高等学校)

□フルートの部

<小学生コース>

金賞 堀内 心優彩 (多賀町立多賀小学校)

銀賞 岡本 亜美 (北上市立黒沢尻北小学校)

銅賞 丸岡 由菜 (川口市立中居小学校)

<中学生コース>

金賞 豊田 翼 (芽室町立芽室中学校)

銀賞 岡本 梨奈 (北上市立上野中学校)

銅賞 菅野 真奈 (所沢市立柳瀬中学校)

<高校生コース>

金賞 小橋 実弥 (明誠学院高等学校)

銀賞 平形 星二 (大阪府立豊中高等学校)

銅賞 二宮 綾音 (八王子学園八王子高等学校)

□チューバの部

<小学生コース>

銀賞 森 阜 (宮崎市立大淀小学校)

<中学生コース>

金賞 岩本 隼輝 (静岡市立清水袖師中学校)

銀賞 螺良 桐吾 (高根沢町立阿久津中学校)

銅賞 西村 優己 (福井市立明道中学校)

<高校生コース>

金賞 角田 幸司 (須磨学園高等学校)

銀賞 島田 諒平 (岩倉高等学校)

銅賞 小野 勝己 (須磨学園高等学校)

□トロンボーンの部

<小学生コース>

金賞 岡田 咲織 (富山大学人間発達科学部附属小学校)

銀賞 木戸口 実 (釧路市立鶴野小学校)

銅賞 小栗 瑛史 (知多市立新田小学校)

<中学生コース>

金賞 神間 依緒莉 (越谷市立大相模中学校)

銀賞 東浦 陽人 (王寺町立王寺中学校)

銅賞 岡田 真央 (富山大学人間発達科学部附属中学校)

<高校生コース>

金賞 富田 祐衣 (高松第一高等学校)

銀賞 難波 倫広 (岡山県立岡山一宮高等学校)

銅賞 榎土 潤 (浜松聖星高等学校)

□マリンバの部

<小学生コース>

金賞 倉橋 星圭 (蒲郡市立蒲郡東部小学校)

銀賞 大橋 叶 (宇都宮市立緑が丘小学校)

<中学生コース>

金賞 篠原 壽慧 (蒲郡市立蒲郡中学校)

銀賞 藤井 悠羽 (茨城中学校)

銅賞 河内 美波 (宇都宮市立田原中学校)

<高校生コース>

金賞 新田 史央 (桐朋女子高等学校音楽科 男女共学)

銀賞 倉橋 明里 (愛知県立時習館高等学校)

銅賞 三浦 英恵 (愛知県立時習館高等学校)

□パーカッションの部

<小学生コース>

金賞 小木曾 隆之 (岐阜市立市橋小学校)

銀賞 吉澤 周平 (真岡市立真岡東小学校)

銅賞 北谷 心響 (札幌市立北園小学校)

<中学生コース>

銀賞 嶋田 結人 (東大和市立第一中学校)

銅賞 飯澤 姫愛 (長井市立長井南中学校)

<高校生コース>

金賞 柴沼 怜央 (茨城高等学校)

銀賞 鏑木 舜裕 (千葉黎明高等学校)

銅賞 渡辺 鉄兵 (札幌大谷高等学校)

□ユーフォニアムの部

<小学生コース>

- 金賞 石井 愛 (美幌町立美幌小学校)
- 銀賞 菊地 律 (網走市立網走小学校)
- 銅賞 藤尾 心花 (下松市立花岡小学校)

<中学生コース>

- 金賞 外間 瑛太 (大野城市立大和中学校)
- 銀賞 中山 芽依 (美幌町立北中学校)

<高校生コース>

- 金賞 土屋 稜至 (筑波大学附属駒場高等学校)
- 銀賞 新村 優海 (鹿児島県立甲南高等学校)
- 銅賞 成迫 萌桜 (市立函館高等学校)

■アンサンブル部門

□打楽器の部

<小学生コース>

- 金賞 東海村立白方小学校 打楽器三重奏 (茨城県)

<中学生コース>

- 金賞 世田谷区立上祖師谷中学校 打楽器三重奏 (東京都)
- 銀賞 横浜市立末吉中学校 打楽器三重奏 (神奈川県)
- 銅賞 鹿児島市立明和中学校 打楽器三重奏 (鹿児島県)

<高校生コース>

- 金賞 北海道遠軽高等学校 打楽器八重奏 (北海道)
- 銀賞 静岡学園高等学校 打楽器四重奏 (静岡県)
- 銅賞 淳心学院中学校・高等学校 打楽器九重奏 (兵庫県)

□金管の部

<小学生コース>

- 金賞 札苗緑小学校スクールバンド 管打八重奏 (北海道)
- 銀賞 高根沢町立阿久津小学校 金管八重奏 (栃木県)
- 銅賞 宮崎市立大淀小学校 金管八重奏 (宮崎県)

<中学生コース>

- 金賞 青梅市立第三中学校 金管八重奏 (東京都)
- 銀賞 東金市立東金中学校 金管八重奏 (千葉県)
- 銅賞 浜松市立開成中学校 ホルン三重奏 (静岡県)

<高校生コース>

- 金賞 宮城県多賀城高等学校 金管八重奏 (宮城県)
- 銀賞 松本第一高等学校 金管八重奏 (長野県)
- 銅賞 千葉黎明高等学校 金管八重奏 (千葉県)

□木管の部

<小学生コース>

- 金賞 関西創価小学校 サクソフーン四重奏 (大阪府)
- 銀賞 宮崎市立大淀小学校 フルート三重奏 (宮崎県)
- 銅賞 多摩市立東寺方小学校吹奏楽団「寺小ウインズ」クラリネット五重奏 (東京都)

<中学生コース>

- 金賞 宮崎市立大淀中学校 クラリネット四重奏 (宮崎県)

銀賞 山口市立小郡中学校 木管八重奏（山口県）  
銅賞 射水市立新湊中学校 クラリネット三重奏（富山県）

<高校生コース>

金賞 WASEDA Clarinet Ensemble クラリネット四重奏（東京都）  
銀賞 松商学園高等学校 クラリネット七重奏（長野県）  
銅賞 静岡県立沼津東高等学校 フルート三重奏（静岡県）

**名 称：No. 6 「サウンド・クリエイター・オブ・ザ・イヤー」**

**目 的：**作曲家の人材発掘を主眼としたコンクールやコンテストは、既に国内外に数多く存在しています。特に伝統的な西欧クラシック音楽の延長上にある現代音楽の分野においては、様々な格式の作曲コンクールが多数存在しています。しかし一方で、現代社会において一般大衆に対する娯楽音楽、つまり商業音楽、ポピュラー音楽や映画放送音楽や劇伴といった分野への進出を目指す作曲家の人材発掘を目指したコンクールやコンテストの類は、まだ歴史も浅く、数も多くはないといった状況です。そこで私どもは、あるテーマ（課題）を設定して、それに沿った作品を募集して審査するという実地的な方法で、優れたサウンドクリエイターの資質を備えた人材を発掘するコンテストの企画化を目指し、今までに在るようでは無かった… こんなサウンドクリエイターのコンテストがあったら… というコンテストを開催します。

**報 告：**第1回（2013年）から第7回（2019年）までサウンドクリエイターによる作曲コンテストを開催してきたが、近年のソーシャルネットワークやYouTubeなど不特定多数に費用も掛からず手軽に周知出来るアプリケーションソフトの出現により、「制作から不特定多数に周知」そのものが誰でも簡単に出来るようになった。（ユーチューバーなど代表的な例）そのような中、本コンテストにおける応募作品数の向上及び運営費用捻出など議論してきたが、時代のニーズに即した作曲コンテストそのものの在り方と必要性を再度検討するため、No. 6 「サウンド・クリエイター・オブ・ザ・イヤー」を休止とした。

**公3事業：音楽に関する鑑賞機会を提供する事業**

**名 称：No. 7 「全日本市民バンドフェスティバル」**

**目 的：**全国の音楽バンドの発展と地域における市民音楽バンド活動の一環として、地方音楽文化の普及と啓発に貢献することを目的とし、ここに「全日本市民バンドフェスティバル」を開催し、演奏会を行う。

**内 容：**「2020年度 第13回全日本市民バンドフェスティバル」（開催）

2020年12月20日（日）13：00～18：00

**会 場：**尚美ミュージックカレッジ専門学校 バリオホール

**共 催：**一般社団法人日本管打・吹奏楽学会

**協 賛：**株式会社ヤマハミュージックジャパン、株式会社フォトライフ、ブレーン株式会社、株式会社JTB、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

特別協力：尚美ミュージックカレッジ専門学校

報 告：2020 年第 13 回全日本市民バンドフェスティバルの開催準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴い、出演者及び関係者の皆様の健康と安全を第一に考慮した結果、2020 年第 13 回全日本市民バンドフェスティバル開催を中止する判断とした。

**名 称：No. 8 「国際音楽ソフトウェア流通協議会」**

(略称：イムスタ International Music Software Trade Association)

目 的：違法コピーが蔓延している昨今、2008 年の IMSTA 委員会の設立から市場や消費者にメッセージを届け、継続的な教育啓蒙活動が主たる活動となる。

内 容：①Facebook での普及啓蒙活動の実施 <https://www.facebook.com/IMSTAJapan>  
啓蒙活動予定：イベントプロモーションを行う。

②広報活動

IMSTA JAPAN ホームページを通じた普及啓蒙活動及び媒体各社への無償告知の要請、無償パブリシティの協力要請、ミュージシャンへの取材及び WEB への掲載。

<http://www.imsta.org/japan/index.php>

③ヤフーオークション他への IMSTA 委員会としての団体参加。違法コピー商品のオークション掲載の即時掲載削除を実施する。

④店頭などで、リーフレットの配布などのプロモーションを行う。

運 営：IMSTA 委員会

委員長 村上 昇 (株式会社インターネット)

副委員長 村井 清二 (株式会社エムアイセブンジャパン)

副委員長 伊藤 博之 (クリプトン・フューチャー・メディア株式会社)

報 告：IMSTA FESTA ONLINE 2020

開催日時：2020 年 12 月 5 日 (土) 16:00~21:00

IMSTA FESTA ONLINE 2020 を開催し、10 ブランド、7 社、1 団体にて音楽制作テクニックや製品デモンストレーションを実施した。

IMSTA FESTA ONLINE 2020 運営委員会

村上 昇 (株式会社インターネット)

田村 示音 (IK Multimedia 日本支部)

多良間 孝紀 (株式会社銀座十字屋)

小池 太郎 (株式会社エムアイセブンジャパン)